

興る！太子高校！！

学びを「力」にするために

本年度は、「興る！太子高校！！」をキーワードに、内なる力に気づき主体的に伸ばそうとする生徒の育成を目指します。校長通信では、そうした太子高校の「今」をお伝えできればと考えています。

総合学科の学校には、ほんとうにたくさんの選択科目があります。本校にも、おもしろそうな科目が数多く用意されています。その中でも、人気が高いのは保育系の科目です。本年度の進路希望調査でも、3年次で保育系の仕事を希望している生徒は、全体の約20%です。この生徒たちが選択する科目に「子どもの発達と保育」というものがあります。この授業には、保育園実習が組み込まれています。実習で、保育園に行った生徒が口々に話してくれるのは、保育園児のかわいらしさもさることながら、子どもたちに泣かれたときの途方に暮れた気持ちや、保育士の先生方のみごとな働きぶりへの感動です。中には、自分にもできるようになるのだろうかという不安感を抱いて、学校に帰ってくる生徒もいます。でも、そういう気持ちを感じた生徒ほど、授業が終盤に入ると保育士になるために必要な資質をきちんと理解して、自分はどうかありたいのかを考え抜いて、進路を選択しています。現場から学んだ「力」は、それほど大きく確実なものなのです。これも「内なる力」です。

自分の進路を選ぼうとするとき、生徒は誰もが「本当にこれでいいのか」と自問自答したり、友達と話し合ったり、家族に相談したりします。この「とことん悩んで誰かと相談する」には力が必要です。辛さに耐える力と人とのコミュニケーションの力です。それを形作っている土台の一つは、「信じる気持ち」です。太子高校のカリキュラムには、そうした力を養える工夫があります。

今年も、生徒たちが新しい教室で新しい友人たちと、信頼の絆を強める準備を始めました。1年後・2年後・3年後の卒業の時に、どんな「力」を身につけているのか、今から楽しみです。

ONE SHOT



一年次生の靴箱です。真新しい靴が整然と並んでいます。本校では、例年、新入生に身だしなみの大切さとともに整理整頓の大切さも伝えていきます。その話を一年次の皆さんはよく理解し実行してくれています。みなさん、ありがとう。

本校の伝統は、こうして次の世代に受け継がれていきます。学校の底力ですね。ここにも「興る」力が見えています。もちろん、上級生の靴箱も同様に整っていますよ。

学校の力・イ・ダ・ン

春は、新芽の季節です。古い葉っぱが落ちて木々は新緑に覆われています。学校の中庭も、新しい緑でいっぱいになりました。と、いうことは落ち葉で地面はいっぱい。美しい苔を痛めないようにと、毎日、校務員さんが丁寧に注意深く掃いてくださっています。どうぞ、学校においでになったときには、美しく手入れされた中庭もご覧ください。